

新幹線プレス

2018年10月8日

No.397

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

開き直りの会社回答・・・

「基本協約を上回る措置として交番勤務者に対して休日予定発表を行っている」

職場諸要求(東京第一・第二運輸所関係)申し入れに関する業務委員会開催！

私たち組合員の切実な声をもとにした「職場改善要求」の申し入れに対し、10月5日東京第一・第二運輸所関係の回答が幹鉄事より示されました。

その内容は私たちの期待とは程遠い、まったく誠意の感じられない回答に終始しています。

特に勤務に関する事項での「勤務発表」のあり方について、今年ダイヤ改正からは3ヶ月予備月が続き年間8ヶ月予備月となることから、生活設計にも大きな影響を受ける事となり、予備月の休日は交番勤務発表と同じく前月の10日に発表するよう求めていましたが、回答では「**そのような考えはない。現在、基本協約を上回る措置として交番勤務者に対して休日予定発表を行っているところであるが、予備勤務者に対して同様な措置を取ることは勤務作成の都合上難しいと考えている。**」として、あたかも交番勤務者の勤務発表に努力していることを評価しろと開き直った姿勢が垣間見られます。この他の殆ども「現状で対処されたい」「状況に応じて適切に対処している」とし、議論の進展は得られませんでした。

私たちが求めているのは健康で安心して働ける職場環境の改善であり、その全ては「安全」に通ずるものとして強く訴えながら、粘り強く改善を求めていきます。